

日光ヘルスケアネット医療機能分担・業務連携計画の
令和3年度の進捗状況に係る評価について

令和4(2022)年6月



地域医療連携推進法人
日光ヘルスケアネット

目 次

1	評価の方法等	3
2	評価の基準	4
3	評価結果総括表(案)	5
別記1	評価指標	6
別記2	令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案)	9



地域医療連携推進法人
日光ヘルスケアネット

1 評価の方法等

(1) 評価の方法

計画「第4章 業務の連携」の施策の展開方向ごとに、評価指標の推移による定量評価に、数値化が困難な取組状況等を勘案し、総合評価を実施する。

(2) 評価指標

施策の実施状況の評価に資するものとして、令和3(2021)年度の評価においては、別記1のとおり19指標を設定する。

なお、評価指標は、施策の実施状況等を踏まえて、適宜、見直していく。



地域医療連携推進委員会
日光ヘルスケアネット

2 評価の基準

(1) 総合評価

- A 順調に進捗している。
- B 概ね順調に進捗している。
- C やや進捗が遅れている。
- D 進捗が遅れている。

(2) 評価指標の定量評価

- a ベースライン値から改善（改善の効果が概ね10%以上）
- b ベースライン値と大きな変化なし（改善の効果が概ね±10%未満）
- c ベースライン値から悪化（改善の効果が概ね▲10%以上）



地域医療連携推進委員会
日光ヘルスケアネット

3 評価結果総括表（案）

施策の展開方向	総合評価
(1) 医療機能の分担による効率的で切れ目のない医療の提供	B
(2) 医療・介護人材の確保・育成	A
(3) 医療機器の共同利用・医療材料等の共同購入	B
(4) 在宅医療の充実	B
(5) 市民に対する普及啓発の推進	A

※ 定量評価を含めた詳細は、別記2のとおり。



別記1 評価指標（その1）

施策の展開方向	サブテーマ	評価指標	備考	
1 医療機能の分担による効率的で切れ目のない医療の提供	1) 効率的な入院調整システムの構築	①地域医療支援病院の紹介率	地域医療支援病院の認定要件(次のいずれか) □紹介率80%超	
		②地域医療支援病院の逆紹介率	□紹介率60%超 かつ、逆紹介率30%超 □紹介率40%超 かつ、逆紹介率60%超	
		③入院支援加算算定件数	各病院・有床診療所の合計値	
		④地域包括ケア病棟の在宅復帰率	地域包括ケア病棟入院料の算定要件 □入院料2 70%以上	
		⑤介護老人保健施設の在宅復帰・在宅療養支援率指標	各施設の合計ポイントの平均値(最高値90) □基本型 20以上 □加算型 40以上	
		⑥入院基本料別平均在院日数	急性期一般2	算定する入院基本料別の「平均在院日数」の平均値
			急性期一般4	各入院基本料の算定要件 □急性期一般2 21日以内
地域一般1	□急性期一般4 21日以内			
	地域一般3	□地域一般1 24日以内 □地域一般3 60日以内		
		⑦日光ヘルスケアネット事務局を通じた入院調整件数	入院調整に困難が予想される事例について、事務局が関係者による調整の場を設けることについて合意 【R3.6.9 入院調整機能検討WG】	

別記 1 評価指標（その 2）

2 医療・介護人材の確保・育成	1) 人材募集活動の共同実施	① ホームページ等を通じた求職者数	専門職(医療・介護・福祉)人材登録制度の運用開始【R1. 7. 16】
	2) 退職した専門職の再就業支援に係る仕組みの構築	② 退職者DB登録者数	退職した専門職の再就業支援制度の登録開始【R3. 3. 16】
		③ 退職した専門職の職場復帰数	
	3) 社員間の職員派遣制度の検討	④ 社員間の職員派遣件数	参加社員間の在籍型出向マニュアル制定【R3. 10. 14】
	4) 計画的な人材の育成	⑤ 専門研修等の参加人数	
3 医療機器の共同利用・医療材料等の共同購入	1) 高額医療機器の共同利用の推進	① 医療機器共同利用の件数	医療機器共同利用システムの運用開始【R2. 12. 15】
	2) 医療材料、医薬品等の共同交渉、共同購入の実施	② 医薬品、医療材料のバラ買い項目数	現在、共同交渉・共同購入等WGにおいて検討中

別記 1 評価指標（その 3）

4 在宅医療の充実	1) 関係者の連携確保	① 退院時共同指導料算定件数	各病院・有床診療所の合計値
		② 訪問診療延べ患者数	厚生労働省が公表する日光市全域のデータ(医療保険適用+介護保険適用)
	2) 在宅医療体制の充実	③ 訪問診療実施機関数	
	④ 訪問看護延べ患者数		
5 市民に対する普及啓発の推進	1) 行政と連携した健康づくり、介護予防等に関する取組の推進	① 日光市と連携して開催した検討会や研修会数	
	2) 医療機能の分化や連携の必要性等に関する普及啓発	② 市民向けセミナーの参加者数	

別記2 令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案) (その1)

施策の展開方向	サブテーマ	評価指標	ベースライン値 (基準年)	第2年次	評価	
1 医療機能の分担による効率的で切れ目のない医療の提供	1) 効率的な入退院調整システムの構築	① 地域医療支援病院の紹介率 (%)	73.4 (R2年度)	65.6 (R3年度)	c	
		② 地域医療支援病院の逆紹介率 (%)	48.6 (R2年度)	43.3 (R3年度)	c	
		③ 入退院支援加算算定件数	1,108 (R2年度)	1,105 (R3年度)	b	
		④ 地域包括ケア病棟の在宅復帰率 (%)	87.2 (R2年度)	85.2 (R3年度)	b	
		⑤ 介護老人保健施設の在宅復帰・在宅療養支援率指標	基本型	32.7 (R2年度)	25.8 (R3年度)	c
			加算型	52.9 (R2年度)	57.3 (R3年度)	b
		⑥ 入院基本料別平均在院日数	急性期一般2	14.8 (R2年度)	14.5 (R3年度)	b
			急性期一般4	19.6 (R2年度)	19.9 (R3年度)	b
			地域一般1	21.2 (R2年度)	21.6 (R3年度)	b
			地域一般3	45.8 (R2年度)	46.8 (R3年度)	b


別記2 令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案) (その2)

施策の展開方向	サブテーマ	評価指標	ベースライン値 (基準年)	第2年次	評価
(1 続き)		⑦ 日光ヘルスケアネット事務局を通じた入退院調整件数	0 (R2年度)	0 (R3年度)	—
	2) 感染症対策等に係る関係者の意見・情報交換の実施	—	—	—	—
	特記事項	<p>● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、日光市二次救急医療に係る病院群輪番制度について関係者の協議により一時的に実施体制を見直したほか、参加医療機関の相互の情報共有や支援のあり方について検討するなど、非常時における医療・介護体制について検討した。</p> <p>● 参加医療機関・介護施設のBCP(業務継続計画)策定を支援するため、BCPセミナーやワークショップを開催した。</p>			
		総合評価			B

別記2 令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案)(その3)

2 医療・介護人材の確保・育成	1) 人材募集活動の共同実施	①ホームページ等を通じた求職者数	0 (R2年度)	0 (R3年度)	—
	2) 退職した専門職の再就業支援に係る仕組みの構築	②退職者DB登録者数	0 (R2年度)	0 (R3年度)	—
		③退職した専門職の職場復帰数	0 (R2年度)	0 (R3年度)	—
	3) 社員間の職員派遣制度の検討	④社員間の職員派遣件数	0 (R2年度)	5 (R3年度)	a
	4) 計画的な人材の育成	⑤専門研修等の参加人数	234 (R2年度)	440 (R3年度)	a
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の看護師、療法士、介護福祉士等の養成校に、人材募集に係るリーフレットを配付した。 ●専門職の事故等の場合に応急的に他の社員から同職種の派遣を受けられるよう、在籍型出向マニュアルを作成した。 			
総合評価					A

別記2 令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案)(その4)

3 医療機器の共同利用・医療材料等の共同購入	1) 高額医療機器の共同利用の推進	①医療機器共同利用の件数	9 (R2年度)	37 (R3年度)	a
	2) 医療材料、医薬品等の共同交渉、共同購入の実施	②医薬品、医療材料のバラ買い項目数	— (R2年度)	— (R3年度)	—
	3) 地域フォーミュラリの検討	—	—	—	—
	4) 業務委託の共同交渉等の実施	—	—	—	—
	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●医療材料のバラ買いに係る基本的な考え方を整理し、令和4年度上半期にも導入可能な状況となった。 ●地域フォーミュラリの検討の参考となるよう、生活習慣病に係る治療薬の使用状況を調査した。 			
総合評価					

別記2 令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案) (その5)

4 在宅医療の充実	1) 関係者の連携確保	① 退院時共同指導料算定件数	2 (R2年度)	7 (R3年度)	b
	2) 在宅医療体制の充実	② 訪問診療延べ患者数	1,269 (H30年度)	1,438 (R1年度)	a
		③ 訪問診療実施機関数	14 (H30年度)	15 (R1年度)	b
		④ 訪問看護延べ患者数	269 (H30年度)	254 (R1年度)	b
	特記事項	●在宅医療をテーマに専門研修を開催し、代診医システムの構築等の先進事例の報告を受けた。			
総合評価					B

別記2 令和3(2021)年度の進捗状況の評価結果(案) (その6)

5 市民に対する普及啓発の推進	1) 行政と連携した健康づくり、介護予防等に係る取組の推進	① 日光市と連携して開催した検討会や研修会数	3 (R2年度)	2 (R3年度)	b
	2) 医療機能の分化や連携の必要性等に関する普及啓発	② 市民向けセミナーの参加者数	0 (R2年度)	0 (R3年度)	—
	特記事項	●医療機能の分化や連携の必要性、医療機関や介護保険施設等の概要などを盛り込んだリーフレットを作成し、市内の医療機関や介護関係者等に配付した。 ●新型コロナウイルス感染症の発生動向を考慮し、一般市民を対象としたセミナー開催は、見合わせた。			
総合評価					A